

HNM11103V-PKN14 HNM11203V-PKN24

●初期照度補正機能付照明器具

PKN14タイプ；電源は100～242V対応  
PKN24タイプ；電源は200～242V対応

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

**施工説明** 工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

**警告**

**安全に関するご注意**

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。取付工事に不備がありますと、火災・感電・落下の原因となります。
- 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。

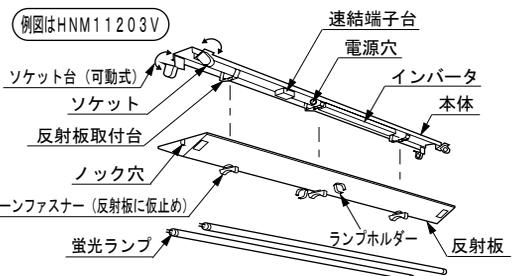
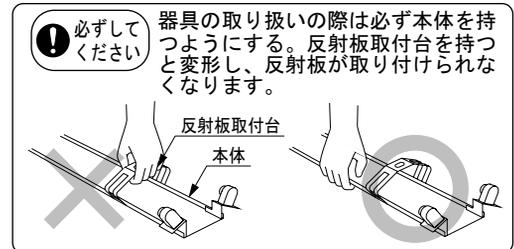
**注意**

- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気が多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 切削油などの油煙のある場所・有機溶剤や洗剤の原液等のかかるおそれのある場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- ホタルスイッチと組み合わせて使用する場合、手動リセットが動作しない場合があります。ホタルスイッチは2箇所までとしてください。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。
- 絶縁抵抗試験は必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。保護機能が作動し不点灯の原因となります。

**各部の名前と取り付けかた**

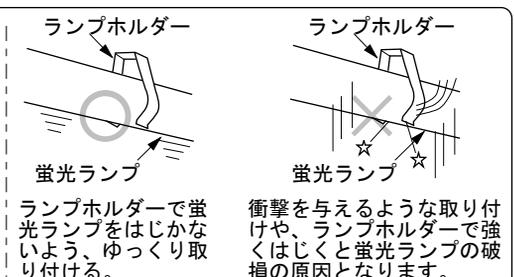
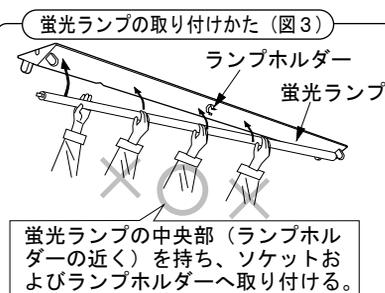
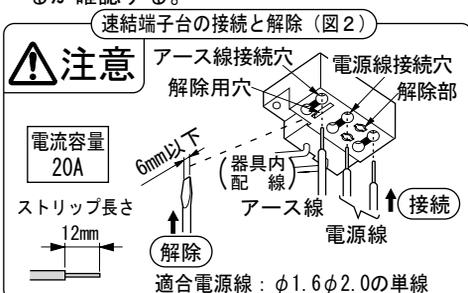
図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

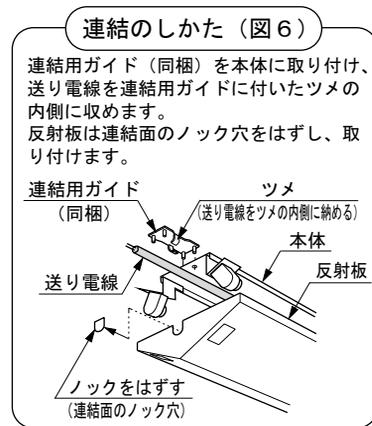
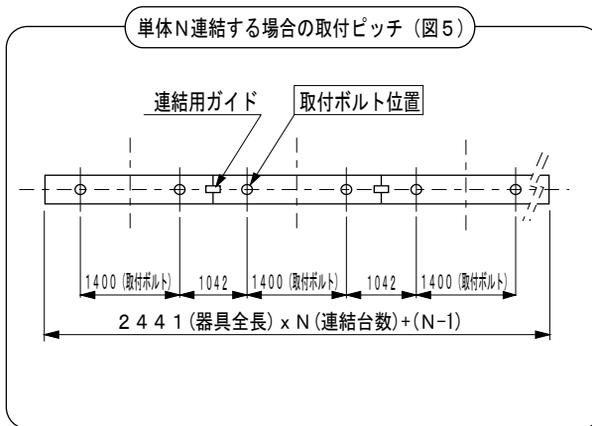
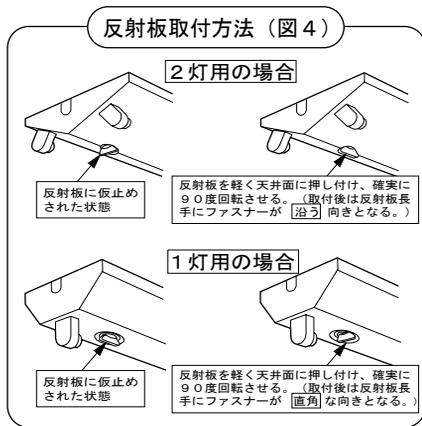
- 1、本体の電源穴(ブッシュ付)より、電源線・アース線を引き込む。他の電源穴を使用する場合はブッシュを付けかえてください。
- 2、器具本体を背面取付穴(図1)により取付ボルトで天井面に確実に取り付け。取り付けに不備がありますと器具の落下の原因となります。
  - 取付ボルトはあらかじめ天井面に用意し、器具質量(図1)に十分耐える強度を確保する。
  - 取付ボルトの出代は本体35mm以下にする。取付ボルトが出すぎると、反射板が取り付けられなくなります。
  - 器具を連結する場合は、裏面(図5)(図6)にしたがい連結する。
- 3、電源線・アース線を連結端子台に接続する。(図2)
  - (1) 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかりと差し込む。差し込みが不十分だと火災・感電の原因となります。
  - (2) 電源線・アース線は連結端子台に接続後、反射板に当たらないように処理する。
    - アースはアース線接続穴を使用しD種接地工事を行う。
    - 解除する場合は、径または幅6mm以下のドライバーで解除部を押し電源線をはずす。アース線は幅6mm以下のマイナスドライバーを解除用穴に挿入してはずす。
- 4、反射板を裏面(図4)にしたがい確実に取り付け。取り付けに不備がありますと反射板の落下の原因となります。
- 5、蛍光ランプを(図3)にしたがい取り付け。取り付けに不備がありますと蛍光ランプの落下・破損・不点灯の原因となります。
  - (1) 蛍光ランプの中央部(ランプホルダーの近く)を持ち、ソケットおよびランプホルダーに確実に取り付け。
  - (2) 蛍光ランプの取り付け後、蛍光ランプをソケット方向に軽くゆすり、ソケットに確実に装着されているか確認する。
  - 取り付けの際は、ランプホルダーで蛍光ランプを強くはじかないようにする。
- 6、工事完了時に器具が確実に取り付けられているか、また蛍光ランプが正常に点灯するか確認する。



器具質量と背面取付穴(図1)

灯数	形式	器具質量
1	HNM11103V	3.8kg
2	HNM11203V	5.5kg





**取扱説明** お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

■このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。



**安全に関するご注意**

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しないでください。火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切ってください。火災・感電の原因となります。
- ランプ交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行ってください。火災・感電・落下の原因となります。



- 器具の近くで温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示および、取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしないでください。火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。使用条件・使用環境で異なりますが、8～10年が交換の目安です。
- 電波の弱い場所（山間・鉄筋建物等）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのは、お避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用は、お避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。

**初期照度補正機能付照明器具使用上のご注意**

初期照度補正機能とはランプ初期の余分な明るさを自動補正する機能です。一般的に新しいランプは設計照度より30%程明るくなります。初期照度補正機能とは、ランプが新しい時の明るさを抑え、設計照度（ランプ初期時の約70%の光束）を保つように、器具ごとに明るさを自動補正する機能です。本器具には累積点灯時間を記憶するタイマーを内蔵しており、新しいランプに交換した場合は次の操作が必要となります。

- ランプを寿命末期まで使用の場合  
寿命を検出し（間欠発振後、発振停止となります）、ランプを消灯して自動的にリセットします。ランプ交換後は、ランプの明るさが初期照度補正状態に戻ります。
- ランプを寿命末期前に交換する場合（手動でのリセット操作が必要です。）  
ランプ寿命前に新しいランプと交換する場合には、自動リセットが動作しないため、手動でのリセット操作が必要となります。

[個別にランプ交換を行う時のリセット操作(その器具だけをリセットする場合)]

1. ランプを取り外す
2. 電源ON（1秒）、OFF（3秒）の操作を4回繰り返す [4回目の電源ONは3秒以上]
3. 新しいランプを取り付ける

